

東京電力 福島第一・第二原子力発電所事故 原子力機構の対応状況

原子力機構における対応状況（8月31日現在）

対応内容	対応場所又は組織	8月31日	3月11日からの延べ人数(人)
環境放射線モニタリング			
緊急時モニタリング	半径約20km圏外	24	3,382
環境放射線測定	福島県内小中学校等	-	343
身体サーベイ等	福島県立医大	-	831
	日立保健所	-	28
環境放射能分析			
環境モニタリング	支援センター	-	133
身体放射能測定	支援センター	-	17
	福島県内	-	90
住民問合せ窓口等の運営			
住民問合せ窓口対応	支援センター	15	2,969
	福島県庁	-	504
	茨城県庁	-	12
避難民等への説明対応	つくば市洞峰公園	-	3
科学的知見や技術の提供			
モニタリング計画立案支援	茨城県庁	-	5
拡散評価解析対応	原子力基礎工学部門	-	180
	支援センター	-	54
原子力安全委員会等への協力	内閣官房・内閣府 関係機関など	-	399
統合対策室特別プロジェクトチーム対応	統合対策室（東電本店）	13	2,161
オフサイトセンターへ支援	福島県	3	432
放射線測定セミナー等（講師）	福島県内	-	103
安全管理者派遣 （一時帰宅プロジェクト支援）	福島県	23	2,446
環境放射線・放射能データとりまとめ等	文部科学省	25	4,367
国際協力、その他支援業務	文部科学省	1	156
広報協力、その他支援業務	経済産業省	1	147
校庭等の放射線量低減化検討	福島県内小中学校等	-	137
核種分析の指導・助言	東京電力	-	70
放射線に関する質問に答える会	福島県	15	82
放射線測定要員育成の研修	福島県	-	44
その他			
指揮・連絡・調整	支援センター	43	6,478
機材輸送等支援等	福島県内	2	1,162
合計		165	26,735

資機材提供の状況（8月31日現在）

種別	機材名	台数
特殊車両	移動式全身カウンタ車	2台
	モニタリング車	3台
サーベイメータ等	ロボット操作車等	2台
	ロボット	1台
	サーベイメータ（内 中性子4台）	188台
	個人被ばく測定器	19台

No.1 2011年9月2日発行

がんばろう ふくしま！！ 福島支援本部 ニュース



8月31日 福島支援事務所設置

本部長
(理事長) 鈴木 篤之

本部長代理
(理事) 戸谷 一夫

これまでの福島支援の取組みを継続しつつ、更に中長期的な視点から機構の専門的人材と研究施設を最大限活用し、総力をあげて取り組むために「福島支援本部」を設置しました。

【活動の目的】

1. 発電所事故の収束に向けた支援
2. 周辺環境の放射能影響の把握・低減
3. 周辺住民等に対する支援

(8/31組織再編)

福島環境支援事務所

【業務内容】

- (1) 福島地区における関係機関との連絡、調整及び協力
- (2) 放射線モニタリング・マッピング
- (3) 環境修復方法
- (4) 遠隔放射線測定技術
- (5) 福島地区における環境安全支援の中核となるセンターの設立準備

復旧支援部

・遠隔操作技術室(新設)

【業務内容】

- (1) 燃料の処理技術
- (2) 滞留水の処理技術
- (3) 遠隔ロボット技術、原子力災害ロボットの整備

企画調整部

【業務内容】

- (1) 福島支援に係る総括
- (2) 企画、計画の策定
- (3) 行政機関等外部との調整対応

福島環境支援事務所長 紹介



6月30日に福島事務所を立ち上げ、環境モニタリングや住環境の除染技術の実証等の活動を通し、福島県民の安全・安心の確保に向け取り組んできました。8月31日、福島県内関係機関との更なる連携強化のため、体制強化を図り『福島環境支援事務所』としました。

所長 石田 順一郎

引き続き、皆様のご支援・ご協力をお願い致します。

ご連絡先(ホームページ: <http://www.jaea.go.jp/fukushima/>)

福島支援本部 〒100-8577 東京都千代田区内幸町2丁目2番2号

TEL 03-3592-2111 (代表)

福島環境支援事務所 〒960-8634 福島県福島市置賜町1丁目29号 佐平ビル8F

TEL 024-524-1065

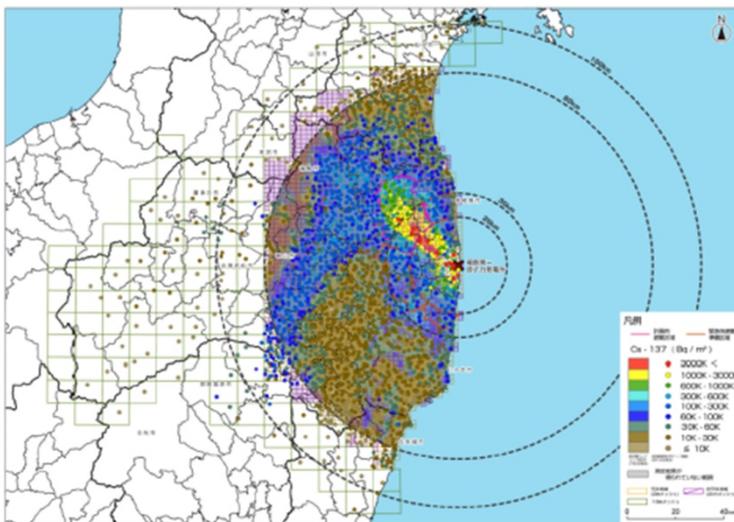
トピックス(1)

放射能汚染のモニタリング・マッピング

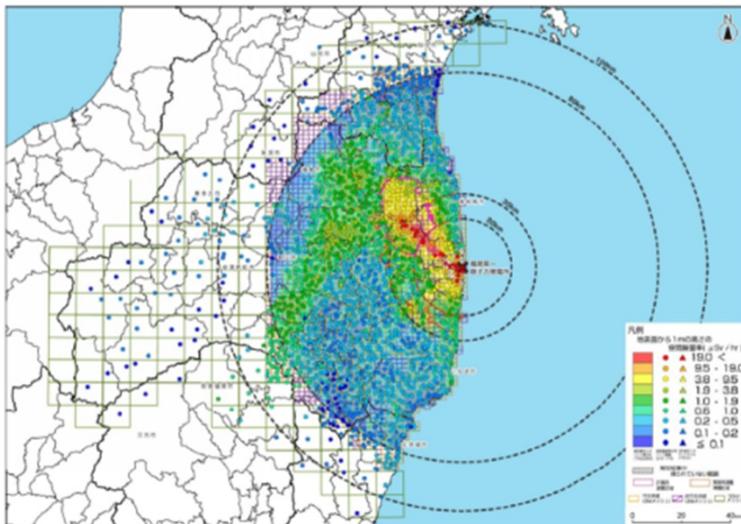
- 放射性核種分布の詳細調査 (文部科学省委託事業「放射線量等分布マップ作成」) -

- 地表面に沈着した放射性物質の濃度分布を、標準化された手法により正確に測定、**放射性核種濃度分布マップ**を作成
- 自動車等を利用した走行サーベイにより、広域の線量率分布を詳細に調査、**線量率分布マップ**を作成

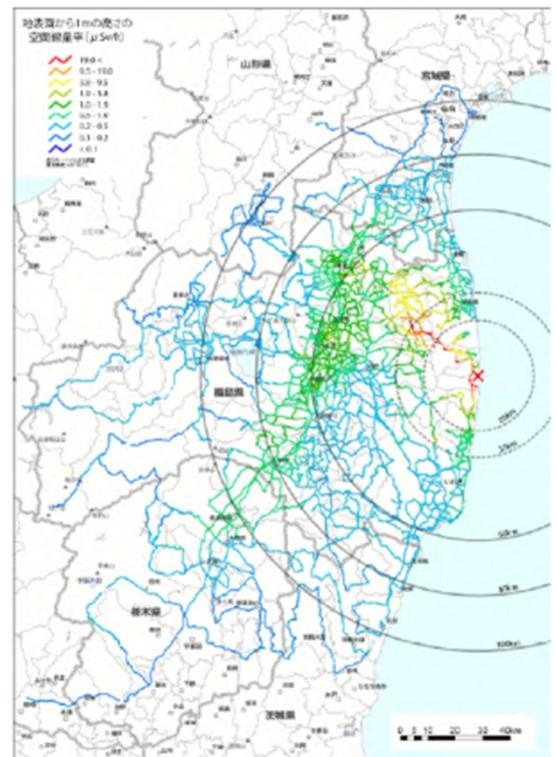
汚染の将来予測
の初期条件



Cs-137濃度分布マップ
(8/30発表)



メッシュ地点の空間線量率分布マップ
(8/12発表)



走行サーベイ結果マップ
(8/2発表)

トピックス(2)

放射線管理要員等の育成研修

資源エネルギー庁から平成23年度原子力関係人材育成事業として原子力機構が受託
東京電力がメーカー、ゼネコン等の協力企業の社員に幅広く募集
年内目標に延べ250名の応募者に対し研修を実施
研修計画(原子力機構の原子力人材育成センターが対応)

放射線管理要員育成研修(5日間コース)

第1回:8月8日~12日に東海村にて実施、9月末までに合計2回の研修を予定

放射線測定要員育成研修(1日コース)

第1~3回:8月6、25、26日にJヴィレッジにて実施、年内に合計10回の研修を予定



放射線測定要員育成研修の様子



放射線管理要員育成研修の様子

学校・幼稚園のプール水の浄化

福島市、伊達市の小中学校・幼稚園のプールで実施

- 福島県内の多くの学校では防火用水を確保するとともに、衛生上の観点から早期の除染・排水が急務。
- ゼオライトによる凝集沈殿法、放射線技術で作成した捕集材を用いて、プール水中の放射性セシウム除去試験を実施、有効性を確認。
- 地元の方の協力を得て、福島市、伊達市の9つのプールで除染作業を実施。



福島県の絆プロジェクトに基づき、伊達市が雇用した地元の方々と協同して除染作業を展開。